平成26年度文部科学省
「スーパーグローバル大学創成支援」採択

関西学院大学「グローバル・アカデミック・ポート」構想ロジックモデル

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY Global Academic Port

インプット

中期計画による予算獲得・配分

補助金 ＋ 自己資金

人件費・謝金
- SGU招聘教員
- 任期制教員
- 専任教員
- 契約職員　等

旅　費
- 新規プログラム開発
- 海外視察
- 海外国際会議参加　等

奨学金
- 留学支援奨学金（短期、中期、長期）

その他費用
- 外国語HP運営
- 留学HP運営
- TOEFL、TOEIC、GTEC等の受験料補助
- パンフレット作成
- 学内留学フェア実施
- 学部研究科プログラム開発、運営費
- 消耗品費　等

アクティビティ

Ⓐ 教育改革
- ダブルチャレンジ制度の創設
- アクティブラーニング推進のための委員会設置
- シラバス英語化
- ナンバリング
- 産官学民連携の強化
- 英語教育改革

Ⓑ 国際化
- 教育プログラムの検討・開発
- 海外大学、国際機関等訪問・招聘
- 海外協定大学の拡大
- 危機管理体制の整備
- 奨学金制度の充実
- 留学フェア等参加
- 高大接続・入試改革

Ⓒ ガバナンス
- FD／SDの実施
- 質保証に関する米国のプロジェクトに参加・国内外調査の実施
- IR分析システムの構築
- 各種調査体系の整理
- ガバナンス改革
- 総合企画部の設置
- 中期総合経営計画の作成

アウトプット

- ハンズオン教育科目の開発・提供
- 副専攻プログラムの開発・提供
- アクティブラーニングスペースの新設・拡大
- 教務システムの国際化
- 英語教育の充実
- 英語スコア管理の徹底
- 留学プログラムの開発・提供
- 大学間協定に基づく日本人学生の留学および外国人留学生の増加
- 国際教育寮の充実
- 国際機関との連携強化 高校、学部、大学院、社会人へのプログラム提供（国連・外交コースの設置等）
- 各種調査体系の確立
- IRデータベースの構築
- eポートフォリオ全学導入
- 高度専門人材の採用・育成
- ガバナンス改革の実質化
- KGC2039、中期総合経営計画策定
- 大学、学部、各学校の中期計画の策定

シンポジウム開催、広報活動 学内外での説明・情報共有等

初期アウトカム

ダブルチャレンジ制度による教育OSの刷新 Ⓐ
ダブルチャレンジ制度の確立、「アウェイプログラム」修了者の増加
- インターナショナル・プログラム（海外）の科目数、単位取得者数の増加
- ハンズオン・ラーニング・プログラム（実社会）の科目数、単位取得者数の増加
- 副専攻プログラム（他分野）のプログラム拡充、修了者の増加

協定に基づく学生海外派遣日本一 Ⓐ Ⓑ
学生の国際モビリティの向上
- 協定校への派遣留学生数の増加
- 外国人留学生数の増加

学生の英語力の向上
- 英語力基準を満たす学生数の増加

国内での融合機会の増加
- キャンパス内での正課外による融合
- 国際寮の拡充と教育機能の充実

国際機関等職員の輩出 Ⓑ
高校～大学～大学院～修了後の長期的な教育・キャリア支援の構築
- 高校生対象「世界市民明石塾」の設置・修了者の輩出
- 学部生対象「国連・外交プログラム」（副専攻）の創設
- 大学院副専攻「国連・外交コース」の設置・修了者の輩出
- 国際機関人事センターの設置とキャリア支援の実施

国際機関等と連携した海外インターンシップ等の実践的な教育の実現

国際通用性のある質保証システムの構築 Ⓐ Ⓒ
中期総合経営計画に基づく内部質保証システムの構築

教育成果・学修成果（『Kwansei コンピテンシー』等）の定義・評価指標の確立

学生一人ひとりの入学～在学～卒業時～卒業後（78歳まで）を通貫した調査の実現（IR）

IR分析基盤システムの完成と分析（IR）の開始

総合的マネジメントの実現 Ⓒ
『3つの総合化』を実現
- 教学計画と経営資源系計画（ヒト・モノ・カネ・情報）を一体化
- 大学と学部の計画の連動
- 大学と院内各学校の計画の連動

2つのPDCAサイクルを統合
- 自己点検・評価と中期総合経営計画のPDCAを統合

Evidenceに基づくマネジメントの実現

中・長期アウトカム

- ダブルチャレンジ制度で学生が「主体性」「タフネス」「多様性への理解」等のコンピテンシーを獲得
  - IR調査による『Kwanseiコンピテンシー』獲得状況
- 協定校への派遣学生数が全国1位
- 留学・融合によって高い学修の成果を獲得
- 留学が特別な学びから普遍的な学びへ
- 「出島」から大学全体の国際化へ転換
- 「内なる国際化」の実現
- 国際機関を目指す「国連・外交コース」修了者の増加
- 国連・国際機関等の職員輩出へ
- 総合学園ならではの人材育成スキームの実現
- 教育成果・学修成果を軸とした分析（IR）の充実・高度化
- 教育成果・学修成果に基づく教学マネジメントの確立
- 中期総合経営計画に基づく総合的マネジメントの確立
- 入学から卒業後までのIRによるマネジメント支援の実現
- KGI・KPIなど指標に基づく総合的評価システムの確立
- SGU財政支援終了後の自走化の確立（新規事業の財源確保）
- 外部・内部環境の変化に対応できる「柔軟で動的なマネジメント」の確立
- 日本の私立大学のマネジメント向上に資するモデルの提示

「主体性、タフネス、多様性への理解」を含む『Kwansei コンピテンシー』を修得し、「質の高い就労」を実現、「真に豊かな人生」を歩む人材を輩出

世界から信頼される日本の“Top Global University”へ

インパクト

- スクールモットー“Mastery for Service”（奉仕のための練達）を体現し、社会を変革する創造的かつ有能な世界市民を持続的に輩出
- 国際的な学術交流の母港“Global Academic Port”の構想を実現し、グローバル化を牽引
- 邦人国際機関職員の増加
- 日本私立大学のマネジメントレベル向上への貢献

（2020年8月版）